

効率的なリモートデバイス管理で オンサイトテクニカルサポートを改善

電源を入れてスマートに考える：すべてのビジネスを 継続する Allxon のアウトオブバンドパワーサイクリ ングサービス

インテリジェント交通流量監視システムは、進歩的な都市を構築するための原動力になっています。リモート管理サービスは、NVIDIA Jetson組み込みエッジデバイスと組み合わせることで、予算内でよりスマートで安全、かつ強固な道路を設計する都市計画にどのように貢献できるのでしょうか？

交通流量にスマートを採用

紙の道路地図を組み合わせたり、デジタルデバイスにランダムに話しかけたりすることで、目的地までのルートを提案してくれるデジタル時代は、国の最新のテクノロジーを基盤にして都市を構築する意欲を刺激しています。NVIDIA® Jetson™ の組み込みAIとエッジコンピューティングソリューションを使用するインテリジェントな交通流量監視システムは、最適な都心部の交通運用への道を開拓します。信号機の信号ポールに設置されるエッジAIデバイスが、スマートシティに道路や事故



の管理といったメリットを提供します。NVIDIA の定評を得ているGPUアクセラレーションによる並列処理が搭載されたJetson組み込みAIコンピューティングプラットフォームは、車両タイプを検出して分類します。運転経路を同時にキャプチャするデータ分析のコレクションは、オペレーターが交通流量の動きを監視して、最適な移動時間を決定するのに役立ちます。これらの交通流監視システムは、市民が道路規則に違反しないようにす

るための規制システムとしても機能するため、台湾では、政府の運輸局からも、交通法執行の向上が増加していると報告されています。公共の安全に向けて都市設計を構成し、交通上の問題を管理するために高度なエッジAIソリューションを使用するNVIDIA JetsonエッジAIプラットフォームのようなインテリジェントな交通流量システムは、道路をより安全にするためにスマートシティが選んだ、イベントを予測の断固たる戦略となりました。

時代遅れのオンサイトエンジニアリング

スマートな交通流量システムは効果的な輸送をもたらしますが、これらのエッジデバイスの維持はそれほど実用的ではありません。せわしい道路上に取り付けられたNVIDIA Jetson組み込みエッジAIコンピューティングデバイスには、タイムリーかつコストのかかる、膨大な労働力を要するメンテナンスが必要となる可能性があります。システム運用のトラブルシューティングと保守のために、エンジニアは現地への出向を求められます。東南アジアでインテリジェント

な交通管制を提供するサービスプロバイダーからは、現地へのテクニカルサポートの訪問1回につき、平均で約1,700米ドルの費用がかかると報告されています。それにもかかわらず、こういった訪問の90%は、従来の再起動手順に始まる処置であり、電源の再投入後に回復するデバイスは全体の70%にとどまっています。単純な再起動サービスは費用と時間がかかるだけでなく、安全対策が十分に考慮されていない場合には労働リスクも増大します。現場でのエンジニアリングにより、最新の交通情報の受信に遅れが生じ、交通システムの方向が乱れるおそれもあります。

眠らない街のための Allxon アウトオブバンドパワーサイクリング

Allxonは、時間と費用効果の高いリモートデバイス管理サービスを提供しており、技術的な運用上の問題を解決するために大きな労働力が求められる回数を軽減します。ダウンしたAIoTシステムを回復する方法は、依然としてデジタル時代に最も重要な機能とされています。Allxonには、NVIDIA Jetson AIプラッ

トフォームなどのエッジコンピューティングデバイスをAllxonのクラウドサービスポータルを介してリモートでオン、オフ、またはリセットできるようにする、アウトオブバンドパワーサイクリングサービスを備えた非常に需要の高いソリューションが搭載されています。リモートデバイス管理の役目を果たすAllxonは、エッジデバイスのヘルスステータスの監視、潜在的なハッカーや違反者からのデバイス侵入の検出、選択したSSDでのOSバックアップの復元などをはじめ、さまざまな機能を備えています。NVIDIA Jetsonエッジなどの主要なスマート交通システムにAllxonのアウトオブバンドを組み込むことで、最新の交通情報アップデートを安全かつ効率的に受信することができます。眠らない街のために、都市計画家はサイトを訪問することなくパワーサイクリング操作を簡単に実行できるようになります。